

第2章 地域課題解決のための具体的施策

I C Tの利活用による、南国市の地域課題を解決する施策について以下に整理する。

1. 地域課題（ニーズ）と解消策

1. 1 福祉・保健分野

1. 1. 1 福祉・保健分野における南国市の課題

南国市における福祉・保健分野にかかわる現状の地域課題としては、以下のようなものがある。

(1) 少子高齢化による独居高齢者・高齢者夫婦世帯の増加

少子高齢化の進行や勤労者層の市外転出により、市内には独居高齢者や高齢者夫婦世帯が増加してきており、次のような課題がある。

①高齢者の見守り

現在でも、近隣住民や民生委員、配達業者などによる声掛けを主とした見守り活動と、市委託事業として在宅介護支援センターが行っている見守り活動がある。

一方で高齢者の方々からは、一人でいるときの不安、話し相手や家事手伝いの要望があると考えられ、見守りという対応だけでなく、隠れた要望を掘り起こして手を足すことができる地域内環境の整備が必要と思われる。また、遠隔地に住む独り暮らしの高齢者の家族からは、万一の事故や災害についての不安の声もある。そのため、地域外との情報連携の必要性と、そのための環境整備も必要と考えられる。

②買い物弱者の支援

現在、健康状態が良好な方は、自ら店舗まで自動車を運転して行き、食料や日常生活用品の買出しを行っている。

しかし健康状態や身体機能の制限により、自由に外出が出来ない高齢者に対しては買い物の代行を行うニーズがあると考えられる。

(2) 高齢者と家族の情報リテラシーの向上

高速ネットワークや各種情報機器など、いわゆるI C Tが発展してきている近年であるが、それらI C Tが使えないとI C Tによる利便性などの恩恵を得られない。

高齢者自身は、一般的に情報リテラシーは低いと考えられ、家族との安否確認、交流に必ずしもI C T機器が使いこなせているとは言えないため、I C Tの利便性を享受していないことが考えられる。I C T機器を使えるように情報リテラシーの向上が望まれる。

(3) 高齢者・障害者に関する情報の共有

現在、高齢者や障害者に関する情報収集については、福祉事務所、保健福祉センター、長寿支援課、包括支援センター、民生委員など、複数の部署、組織が個々に情報を持ち、動いている。そのため、高齢者や障害者にとってみれば、同じような要件で何度も訪問を受け、同じような質問を何度もされるという無駄が生じている。官民で保有する情報の共有を図る仕組みを構築することで、効率的で行き届いたサービスが提供できる可能性が高い。

1. 1. 2 福祉・保健分野における南国市の課題解決の方策

福祉・保健分野における南国市の地域課題を解決するためのICT利活用による方策として、以下のシステムを組み合わせ導入することが考えられる。

(1) 高齢者の見守り・買い物支援システム

高齢者の中で、特に独居高齢者や高齢者夫婦世帯を対象に、地域の支援者や地域外の家族が見守りを行う。そして運営組織を形成する事により買い物支援などの生活支援を行うためのシステムである。

通信インフラ整備状況に応じて、システムが利用する通信インフラを選択することにより、(a) 超高速/高速通信ネットワークとテレビ電話を利用したシステム、(b) 携帯電話を利用したシステムの2方式、または地域の通信インフラの整備状況により両方式を組み合わせたシステム構成が可能である。

(a) 超高速/高速通信ネットワークとテレビ電話を利用した

高齢者の見守り・買い物支援システム

テレビ電話・情報表示端末を用いて、地域支援者や市外在住の家族が高齢者の見守りを行い、買い物支援を行う。また、健康情報等の配信、健康管理、健康相談等に利用することも可能である。

(b) 携帯電話を利用した高齢者の見守り・買い物支援システム

高齢者向けの携帯電話を用いて、在宅高齢者の見守りや買い物支援などの生活支援を行う。

(2) ICTサロンの開設

高齢者がICTの恩恵が受けられる事を目指して、ICT機器やアプリケーションソフトを使えるように、市内の複数箇所にサロンを設けボランティアまたは依頼により定期的または随時、指導をしてもらえる環境を整える。

(3) 高齢者・障害者関連情報共有システム

同じ高齢者や障害者に対して複数の部署、組織の人が同じような質問、問合せをする事を避けるために、高齢者・障害者の個人情報、見守り情報などを一元管理し、関連する部署、組織で共有する。

1. 2 防災分野

1. 2. 1 防災分野における南国市の課題

南国市における防災分野にかかわる現状の地域課題としては、以下のようなものがある。

(1) 災害発生時の情報収集について

災害発生時の情報収集手段としては、高知県防災行政無線システムとの連携により県との情報共有が図れており、他拠点や住民から電話、FAX、メール等で各部署に集まる情報についても、“情報は危機管理課に集約する”との認識が統一されているため、危機管理課への各種災害情報の集約が機能している。

しかしながら、職員の高い意識や、手作業による情報集約等の人的側面に頼っている面が強いため、大地震や津波等の発生による大規模災害が発生し、集約する情報量が飛躍的に増加した場合でも同様に機能するかについては課題が残る。このような場合でも、必要かつ重要な情報を効率的に収集し、抜け洩れ等を防止するためのシステム化を検討する必要がある。

(2) 災害発生時の情報配信について

災害発生時の情報伝達手段としては、現状ではエリアメールと今年度末に整備予定の同報系防災行政無線システムがある。災害発生時にもれなく住民へ情報を伝達するためには、複数の伝達手段を用意することが有効かつ必要であり、現状で活用可能な手段としては、ホームページへの情報掲載、Twitter等のSNS活用等が考えられる。住民への確実な情報伝達という点において、各戸への情報配信端末の整備も必要である。いっぽうで、複数手段で情報配信を実施する場合には、迅速かつ効率的に情報を配信するための環境整備もあわせて検討する必要がある。

また、住民避難誘導については、固定化された避難誘導方法ではなく、災害の内容に応じた住民への避難誘導のシステム化を検討する必要がある。

(3) 災害対策（BCP）への取り組みについて

業務効率化のために、共同利用型の自治体クラウドサービスを運用中であるが、BCPの観点において、システム面、電力供給の面から、更なる検討が必要である。

災害発生時に、庁舎、出先機関及び避難所での業務継続を支えるため、最低限の電力確保およびシステム運用の手段を検討・用意しておく必要がある。

1. 2. 2 防災分野における南国市の課題解決の方策

防災分野における南国市の地域課題を解決するためのICT利活用による方策として、以降のシステムを組み合わせ導入することが考えられる。いずれの方策に対しても庁内の災害対策部門を中心とした運営体制が必要となる。

(1) 危機管理支援システム

災害や緊急事態が発生した際には、自治体職員の対応能力を高めるだけでなく、長期的視野からの戦略、戦術レベルの対応能力を高める必要がある。

実行機能（担当者クラス）、企画立案機能（部課長クラス）、意思決定機能（幹部クラス）がそれぞれの立場で必要となる情報をシステムに収集、集約することによ

り情報流通が迅速化される。また、流通した情報は記録化されるため、振り返りの際にも活用が可能となる。

さらには、住民への情報提供にも活用可能であるため、迅速な情報提供が可能となる。

(2) 防災情報受信端末

住民に確実に情報伝達を行うため、多様な伝達手段を確保することが必要である。自宅にいる高齢者等が、災害情報や避難情報を確実にかつ迅速に把握するために、各戸へ防災情報受信端末を配備することで、音声、テキスト及び映像情報により災害情報や避難情報の提供が可能となる。

(3) 防災情報伝達制御システム

防災行政無線、エリアメール、ホームページ等、既に整備済の情報伝達手段に加え、FacebookやTwitter、各戸への防災情報受信端末等、さらなる情報伝達手段の拡大が必要である。なお、情報伝達手段を増加した際には、J-Alert等の防災情報を複数の通信路や通信メディアに送付するため、一元的な配信管理・制御が必要となる。

本システムの導入により、住民に対し情報伝達の迅速性を確保すると共に、職員稼働の軽減を図る。

また、小規模災害発生時には、災害発生エリアに閉じた情報伝達を行うことにより、災害規模に応じた適切な情報配信制御が可能となる。

(4) 避難誘導システム

災害発生時には、発生した災害の種類に応じ、適切な場所への避難が重要となる。住民が避難を行う際に、ICTを活用して視覚的に避難誘導を行うことが可能となる。

(5) クラウドサービス活用による業務継続

クラウドサービスを利用した遠隔地データバックアップサービスを利用することにより、自治体が保有するデータを遠隔地に保管する。大規模災害発生時においても、データ消失といった最悪の事態を免れることができる。

(6) 電力供給システム

災害発生時には、電力供給が不安定になり、最悪の場合、庁舎、出先機関および避難所等での停電が発生する場合がある。停電時においても職務にあたる市職員の業務遂行および避難所での被災者の生活を支援するため、発電設備の導入が考えられる。

庁舎、出先機関及び避難所での電力供給が可能となることにより、業務継続でき、情報通信機器の活用による情報発信、収集が可能となる。避難所においては、必要な物資の供給、医療機関との連携も可能となる。

1. 3 教育分野

1. 3. 1 教育分野における南国市の課題

南国市における教育分野にかかわる現状の地域課題としては、以下のようなものがある。

(1) 教職員の業務負荷軽減

一人1台のパソコン整備、児童・生徒情報の一部システム化、掲示板や備品管理等の学校間情報共有等、教員の業務効率化のためにICT利活用を推進している。

しかしながら、すべての校務をシステム化できておらず、ICT化による一層の負荷軽減が期待される。一方で多忙な教職員が新しいシステムの操作を覚えて利用を定着させることにも課題があり、教職員のICTスキルの育成や支援体制についての検討も重要である。

(2) 地域とふれあう教育の推進

南国市の学校教育の特徴として、地域の食文化や農業への理解を深めるために、地元生産の米や野菜を使った給食や親子での米作り体験等食育教育を積極的に実施している。

食育教育の目的である「食」の大切さの理解や地産地消の推進や地元農産物の消費拡大をより加速させるために、学校教育と併せて家庭や地域との連携も重要である。学校から食育教育について地域に情報発信して、「食」や地域の農産物について家庭での会話を増やし、地域全体の意識を向上させる必要がある。

(3) ICT教育環境の整備と利用拡大

タブレット端末や電子黒板等ICTを活用した教育をモデル校では日常的に実施しており高い教育効果が得られている。

今後の課題として、ICT教育環境を全校に展開するとともに、ソフト（教材）や活用形態の一層の充実を図って、地域全体の学習効果の向上を図り、ICTを活用して地域の活性化を図っていくための人材育成を行っていく必要がある。

(4) 生涯学習・交流機会の提供

市民による自主的な学習サークルが活動しており、趣味を中心とした交流が行われている。また、男女共同参画など市の重要施策では、市民の意識啓発のために講座等を行っている。

もっと多くの市民に学習機会や交流の機会を提供することで市民の豊かな生活に寄与することができる。

1. 3. 2 教育分野における南国市の課題解決の方策

教育分野における南国市の地域課題を解決するためのICT利活用による方策として、以降のシステムを組み合わせて導入することが考えられる。

(1) 校務支援システム

児童・生徒の学籍、成績、健康などの情報をICTで一元管理し、指導要録や健康診断票の電子データ化を行う。また、学校間、教育委員会とのデータ共有やコミ

コミュニケーション機能を充実させて、事務効率化とともにノウハウの共有による全体の教育レベルの向上を図る。

校務システムの構築・運用に当たっては、セキュリティと信頼性確保、運用負荷の軽減等の目的でクラウド型のシステム導入も選択できる。

(2) 遠隔教育・学習システム

ICT教育環境の有効活用の一つとして、姉妹都市の学校と交流授業や小学校・中学校・高専の連携授業等ネットワークを利用して遠隔教育を行う。遠隔教育システムは、休日・夜間の職員研修、社会人教育にも活用できる。

また、職場や家庭での学習機会を提供するeラーニングシステムを構築する。

(3) 食育サイト

給食の献立や産地情報、地域の農業について児童・生徒が調査した内容等をホームページを使って家庭や地域に情報発信して、地域全体で地産地消に対する意識向上を図る。また、学校教育の中で「食」の重要性や栄養バランス等の食育教育のツールとして活用する。

(4) 市民学習サイト

市民が講師となる自主的な学習活動を支援するために、コミュニケーションや情報共有の手段としてICTを活用する。また、同じ趣味を持つ市民や学習サークル等に対して情報提供やコミュニティ交流のためのポータルサイトを提供する。学習成果はインターネットにより市民や全国に発信することができる。

1. 4 観光分野

1. 4. 1 観光分野における南国市の課題

南国市における観光分野にかかわる現状の地域課題としては、以下のようなものがある。

- (1) 空港立地の優位性が南国市の観光施設への誘客に結びついていない
 - ・高知県が宣伝する「リョーマの休日」は全国的な認知度があることから、観光資源を誘客に結びつける取り組みが必要と思われる。
 - ・空港立地が必ずしも観光誘致につながらない原因としては、高知県の公共交通の現状から、自動車で高知入りする観光客が多いことも上げられる。
- (2) 観光資源の発掘・再整理
 - ・歴史的な観光資源の価値を見直し、観光事業に結びつける
(銅鐸と銅矛の境界線、物部氏、紀貫之、源希義、長宗我部元親、坂本龍馬に代表される長宗我部遺臣の故郷)
 - ・パワースポット (鳥居杉など)
- (3) 観光事業の集客性向上
 - ・グルメ (しゃも、田舎寿司 (こんにやく寿司、タケノコ寿司))
 - ・温泉／宿泊
 - ・観光農園 (西島園芸団地＝集客10万人の観光施設)
 - ・特産品 (四方竹)
 - ・イベント (土佐の食1グランプリ、長宗我部フェス、長宗我部元親ラリー)
 - ・観光タクシー
- (4) 南国市観光の情報発信力強化
 - ・南国市出身のふるさと会／観光大使の制定による人的ネットワーク構築
 - ・全国からネット検索される、注目される機会づくり



1. 4. 2 観光分野における南国市の課題解決の方策

観光分野における南国市の地域課題を解決するためのICT利活用による方策として、以降のシステムを組み合わせて導入することが考えられる。

(1) 観光フリースポット

空港や駅、観光名所、宿泊施設、主要な周回道路周辺においてWi-Fiフリースポットを整備して、観光客がその場で閲覧できる南国市観光ポータルサイトにアクセスしやすい環境を提供し、南国市の観光資源を大いにPRする。また、下記の各サービス提供基盤として活用する。

尚、周回道路の指定については、観光資源の発掘・再整理の課題解決を図ったうえで、効率的に誘致できる道筋を今後、検討する必要がある。

(2) 観光ナビ

観光名所、グルメスポット、土産物屋、交通機関、宿泊施設などの近在にある各訪問ポイントの地図情報を提供する。これにより効率的に名所各所を周回し、南国市を多く知っていただくことができる。

(3) オンデマンド・タクシー

現在空港にて実施している観光施設へのタクシー往復プラン（固定料金制）の利用客を増やすため、観光ポータルサイトで情報をPRして、オンデマンド予約（前日／当日予約）できる仕組みを提供する。

(4) 観光カメラ

南国市の観光名所各所をWebカメラで写して観光ポータルサイトに掲載する。これにより市外から南国市を実際に訪問してみたいと思う動機付けの促進を図る。

(5) プッシュ型観光情報配信システム

観光事業の推進には南国市の数ある観光資源をいかに情報発信し、観光客誘致・購買客誘致にどう繋げるかが極めて重要である。

については、専用端末ではなく、携帯電話、パソコン、スマートテレビ、スマートフォン、タブレット端末等の汎用端末に自動的に告知したい情報を配信し共有する仕組みを構築し、情報発信展開の浸透度向上を図る。

(6) ふるさと会情報交流サイト／SNS

南国市出身や縁ある方々を中心にしてTwitterやFacebookを活用した「ふるさと会情報交流サイト」を立ち上げる。観光大使同様に会のメンバー一人一人の口コミにより観光振興を図る。また、外部との交流により地元では思いつかない「気づき」を増やして、南国市観光資源の開発を促進する。

1. 5 農業分野

1. 5. 1 農業分野における南国市の課題

南国市における農業分野にかかわる現状の地域課題としては、以下のようなものがある。

(1) 地産地消の推進

地域とふれあう教育の一環として、地域の食文化や農業への理解を深めるために、学校給食として市内の小学校13校と幼稚園1園へ地元生産の米や野菜を供給している。市から委託契約を受けている農業生産法人株式会社南国スタイルが直販所から仕入れて、各学校へ配送しているが、学校給食会の需要量と直販所の供給量が合わないため、地元野菜の地産地消がなかなか増えないという課題がある。

地産地消をさらに拡大するためには、学期単位で作成される献立表に基づいた地元野菜の作付けや生産調整を行う必要があるとともに、電話連絡やFAXで処理している学校給食会と直販所の需給量調整を円滑に実施する必要がある。

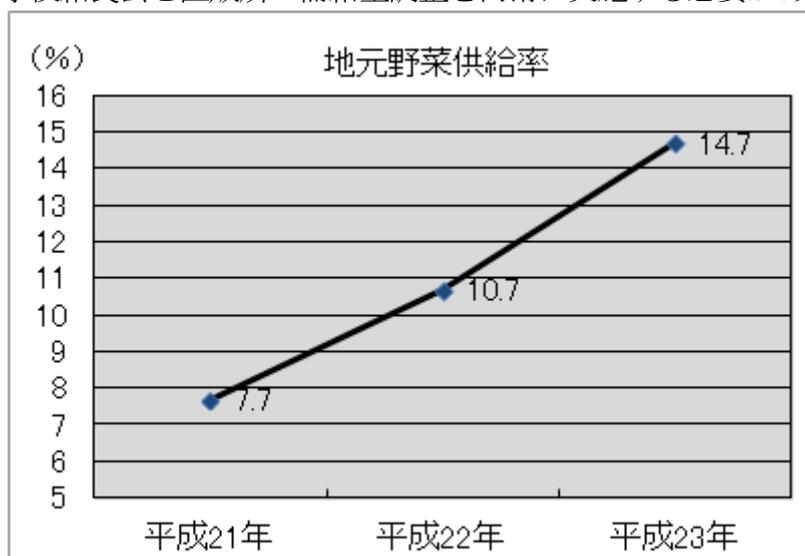


図 2. 1. 5. 1 地元野菜の供給率

(2) 地域の特徴を活かした体験型農業の実践

南国市は、温暖な地域のため二期作で知られており、7月には「早場米」として出荷されている。また、水田を利用し、冬期も温暖な気候を活かした野菜や花などの施設園芸も盛んであるが、最近では米の需給調整等により二期作として行われなくなった。

南国市は、高知県の空の玄関である高知龍馬空港を有し、憩いの場を求める都市住民が容易に移動しやすい条件に合っており、憩いの場を提供するとともに、都市と農村の交流を深めるために、農作物を作付け・収穫する体験農業や「田んぼのオーナー制度」により南国市に人を呼び込み、地域の活性化を図って行く必要がある。

(3) 直販所の機能強化

直販所の目的は、生産農家の所得向上と地元の新鮮でみずみずしい旬な野菜を提供することであり、農業生産者の顔を掲示して直接農業生産者が見える販売促進の取り組みも実践している。直販所の販売実績は、POSシステムにより管理されて

おり、生産者へ携帯メールで販売実績が通知される仕組みを既に構築している。

直販所の競合店は、近隣市町村の直販所や量販店があり、さらに消費拡大するためには、直販所から積極的に情報発信して、南国市の直販所のすばらしさをアピールする必要がある。(参考資料：高知県東部及び中部エリアの直販所リスト)

(4) 特産品の地域ブランド化

南国市には、全国的に知られていない特産物があり、切り口が四角形に近いことからその名がついた白木谷の四方竹や坂本龍馬が食べ損ねた特産の生姜風味スープで食べるシャモ鍋をはじめとした様々な特産品があるが、全国へ向かって情報発信がされていないので、積極的に南国市の特産品を地域ブランドとして発信していく必要がある。

表 2.1.5.1 高知県内にある直販所一覧 (高知県東部)

東部 室戸市・東洋町・北川村・馬路村・安田町・奈半利町・大豊町・田野町 安芸市・香美市・芸西村・香南市			
	店名	住所	電話番号
1	道の駅「キラメッセ室戸」楽市・鯨の郷	室戸市吉良川町丙890-11	TEL:0887-25-2918
2	白浜市	安芸郡東洋町河内1102-7	TEL:0887-29-2490
3	ゆずの森	安芸郡馬路村馬路3888-1	TEL:0887-44-2323
4	味工房じねん	安田町大字正弘566	TEL:0887-39-2366
5	奈半利駅物産館「無花果」	奈半利町乙1305-6 奈半利駅1階	TEL:0887-32-1288
6	びんび屋	奈半利町加領郷 加領郷漁港内	TEL:0887-38-4005
7	「田野駅屋」たのえきーや	安芸郡田野町1431-1	TEL:0887-32-1077
8	(有)安芸グループふぁーむ	安芸市穴内乙685-2	TEL:0887-35-2620
9	廊中ふるさと館 しゃべっと茶屋	安芸市土居1017-1	TEL:0887-34-0701
10	(社)安芸市観光協会 安芸駅ちばさん市場	安芸市矢ノ丸4-2-30	TEL:0887-35-7500
11	直販所どんぐり	安芸市土居1579-1	TEL:0887-35-3344
12	弥っ太郎市	安芸市本町3丁目5番2号	TEL:090-8692-1125
13	かっぱ市	芸西村和食甲452-1	TEL:0887-33-2990
14	あぐりのさと	香南市香我美町口西川271-1	TEL:0887-54-2128
15	味の駅「こだわり市」	香南市香我美町岸本330-3	TEL:0887-55-4966
16	やすらぎ市	香南市夜須町千切537-90 道の駅やす内	TEL:0887-55-2370
17	吉川町地場産品直売所「天然色市場」	香南市吉川町吉原1841-2	TEL:0887-54-5599
18	奥物部ふるさと市	香美市物部町大栃872-2	TEL:0887-58-2811
19	香北良心市	香美市香北町美良布1293	-
20	「葎生の里」美良布 直販店	香美市香北町美良布1211	TEL:0887-59-3156

出展：高知県観光情報サイト こじゃんとネット

(http://www.kojyanto.net/kochi_inf/kochi_tyokuhan/index.html)

表 2.1.5.2 高知県内にある直販所一覧（高知県中部）

<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin-right: 10px;">中部</div> <div> 高知市・南国市・本山町・土佐町・土佐市・佐川町・越知町 須崎市・いの町・日高村・仁淀川町・大川村・津野町 </div> </div>			
	店名	住所	電話番号
1	さん花園	南国市三島586-2	TEL:088-864-3839
2	かざぐるま市	南国市上野田320-1	TEL:088-863-5914
3	JA南国市直売所風の市	南国市左右山102-1 道の駅南国内	TEL:088-880-8011
4	ながおか温泉「あけぼの市」	南国市下末松111-1	TEL:088-864-6306
5	ひかり市	南国市十市2319-4	-
6	JA全農こうち直営生鮮市場とれとれ彩祭	南国市大そね甲1571	TEL:088-863-8030
7	高知市農協旭支所直売部横内店	高知市横内90-1	TEL:088-840-1803
8	高知市農協旭支所直売部旭店	高知市旭駅前町3	TEL:088-824-1761
9	高知県漁協横浜直売所	高知市横浜字竹ノ下1814-8	TEL:088-841-5421
10	朝倉良心市組合直販所	高知市朝倉本町1丁目15	-
11	あかいし良心市組合	高知市朝倉戊785	TEL:088-840-7772
12	農協特産センター とさのさと	高知市南川添7-10	TEL:088-878-8722
13	香北遊裕ふれあい店	高知市相生町2-3	TEL:088-882-2031
14	大豊町農産物直販店	高知市菜園場町8-3	TEL:088-885-2043
15	「山里の幸 鏡村の店」万々店	高知市中万々95-16	TEL:088-871-3705
16	伊野町農産物高知直販所	高知市朝倉東町50-34ホームセンターマルニ駐車場	TEL:088-840-6837
17	JAコスモス佐川支所はちきんの店六泉寺店	高知市六泉寺町6-22	TEL:088-831-7005
18	JAコスモス佐川支所はちきんの店瀬戸店	高知市瀬戸1丁目4-21サンテパテオビル1F	TEL:088-842-8002
19	JAコスモス佐川支所はちきんの店城見店	高知市城見町3-27	TEL:088-884-7980
20	JAコスモス佐川支所はちきんの店愛宕店	高知市愛宕町1丁目11番20	TEL:088-825-4974
21	風車の駅 津野町ふるさとセンター瀬戸店	高知市瀬戸東町3-87	TEL:088-848-0668
22	あぐりショップ四万十	高知市北本町3-8-17	TEL:088-884-1795
23	ひだまり交差点 BALとさやま	高知市土佐山139-3	TEL:088-895-2304
24	中川直販所とんとんの店	高知市土佐山東川661	TEL:088-895-2880
25	「山里の幸 鏡村の店」R10店	高知市鏡大1番地	TEL:088-896-2468
26	風車の駅 津野町ふるさとセンター十津店	高知市十津2丁目13-5	TEL:088-847-8775
27	フードステーション真心ふあーむらぶ	高知市高須東町4-8	TEL:088-883-6650
28	JF高知県漁協海の漁心市 本町店	高知市本町1-6-21	TEL:088-822-8433
29	JA高知市農産物直売横浜店	高知市横浜新町4丁目2314番地	TEL:088-841-4784
30	JA高知市介良支所良心市	高知市介良乙1682-1	TEL:088-860-0111
31	網川道の駅直売所	高知市土佐山都網565-1	TEL:088-895-2271
32	春の里	高知市春野町西分512-2	TEL:088-894-2222
33	工石山直売所	高知市土佐山高川1898-35	TEL:088-895-2725
34	本山さくら市	長岡郡本山町本山582-2	TEL:0887-76-2252
35	米米ハート八菜館	土佐郡土佐町田井1495	TEL:0887-82-0074
36	JA土佐れいほく女性部土佐町支部良心市	土佐郡土佐町田井1354-5	-
37	早明浦橋売店	土佐郡土佐町境(上吉野川橋南詰め)	TEL:0887-82-2293
38	土佐 蓮池の市	土佐市蓮池948-1	TEL:088-852-1993
39	北原ふるさと市	土佐市北地4974	TEL:088-854-1811
40	高岡良心市	土佐市高岡町乙3519JA土佐市高岡支所	TEL:088-852-7378
41	波介農産物直販所	土佐市蓮池460-8	TEL:088-854-0345
42	戸波朝市	土佐市家俊大石1037-1	TEL:088-855-0606
43	JAとさし高石直販所	土佐市塚地田所116-1	TEL:088-852-2033
44	浜辺の駅 南風の郷	土佐市新居字湊38-33	TEL:080-5664-0039
45	JAグリーン伊野産直市	吾川郡いの町枝川	TEL:088-892-0234
46	レストパークいの	吾川郡いの町北内418	TEL:088-893-4688
47	JA伊野町伊野直販所	吾川郡いの町駅前町221	TEL:088-892-1070
48	仁淀川ふれあい市	吾川郡いの町鹿敷1226道の駅土佐和紙工芸村	TEL:088-892-1117
49	水辺の駅 あいの里仁淀川	吾川郡いの町柳瀬本村551 水辺の駅あいの里	TEL:088-897-0097
50	633美(むさび)の里	吾川郡いの町上八川甲1160-2	TEL:088-850-5300
51	JA伊野町紙博直販所	吾川郡いの町幸町110-1	TEL:088-892-1066
52	ふれあいの里柳野	吾川郡いの町小川柳野字大黒田2482	TEL:088-868-2148
53	本川直売所	吾川郡いの町桑瀬225-4	TEL:088-869-2455
54	ふるさと斗賀野良心市	高岡郡佐川町中組69	TEL:0889-22-1300
55	JAコスモス佐川支所はちきんの店佐川店	高岡郡佐川町甲1751-1	TEL:0889-22-7815
56	農家直販店 ふる一つ村	高岡郡佐川町青去甲2752-1	TEL:0889-22-4477
57	越知町観光物産館 おち駅(越知産市)	高岡郡越知町甲1736-7	TEL:0889-26-2900
58	谷の内フレッシュ市	高岡郡越知町越知甲1970 越知町役場前	-
59	本郷農産物直販所(さんさん市)	高岡郡日高村本郷1478-9	TEL:0889-24-5199
60	サングリーンコスモスふれあい市	高岡郡日高村本郷512	TEL:0889-24-5122
61	良心市439	仁淀川町北浦450-4	TEL:0889-34-3988
62	上分あさぎり市	須崎市上分甲307-2	TEL:0889-46-0137
63	かわうそ市	須崎市下分甲263-3	TEL:0889-40-0252

南国市

1. 5. 2 農業分野における南国市の課題解決の方策

農業分野における南国市の地域課題を解決するためのICT利活用による方策として、以降のシステムを組み合わせ導入することが考えられる。

(1) 農業生産管理・集約システム

平成24年4月に設立された農業生産法人株式会社南国スタイルが、電話連絡やFAXで処理している学校給食会の需要量と直販所の供給量の調整をICTで一元管理を行う。

また、学期単位で作成された献立表に基づき、直販所に納品している農業生産者に対して、地元野菜の生産調整の連絡を円滑に行うためにICTで一元管理を行う。

(2) 農業ICTソリューション（生育状況ライブ発信サイト）

憩いの場を求めて南国市を訪れて、農作物を収穫する体験農業や「田んぼのオーナー制度」で作付けした農作物の生育状況や気温等の気象状況を確認できる生育状況ライブ発信サイトを提供し、日々の生長状況や南国市の天気を確認するとともに、南国市に興味・関心を持ってもらい南国市ファンを拡大する。

(3) 直販所情報交流サイト

南国市の直販所のすばらしさをアピールするために、ソーシャルメディアを活用して、直販所から旬な話題や生産者ならではのレシピ紹介等を積極的に情報発信できる仕組みづくりを行う。

(4) 地域ブランド情報交流サイト

南国市の特産品を地域ブランドとして全国へアピールするために、アンテナショップやソーシャルメディアを活用して、積極的に情報発信できる仕組みづくりを行う。